

# 令和2年度 第10回旭市学校再編計画策定委員会 会議録

1 期 日 令和2年7月31日（金） 開会 午後2時00分  
閉会 午後3時30分

2 場 所 干潟公民館 1階ホール

## 3 出席者

会	長	加瀬 正彦（副市長）
副	長	伊藤 啓子
委	員	富山 理
委	員	伊藤 英希
委	員	向後 三郎
委	員	芳野 守
委	員	渡邊 錦一
委	員	小倉 和也
委	員	宮内 敏之（行政改革推進課長）
委	員	加瀬 政吉（学校教育課長）

### 《事務局》

庶務課長	杉本 芳正
庶務課副課長	飯島 和則
庶務課施設班班長	八馬 裕樹
庶務課施設班副主査	林 義樹
庶務課施設班副主査	小林 尚嘉
庶務課施設班主事	内田 功詠
学校教育課指導班班長	岩井 玲

## 4 開 会

### ・事務局

それでは定刻となりましたので、これより「第10回旭市学校再編計画策定委員会」を開会いたします。また、本日、財政課長が所用のため欠席との報告がありました。それでは、会議の前に会長であります、加瀬副市長からご挨拶を申し上げます。

## 5 会長あいさつ

前回6月の末に第9回を開催しました。令和2年度になって少し間が空いたということで、前回資料をお出ししましたけども、その場ですべて見て意見をいただくのは、なかなか難しいところもあったかと思えます。持ち帰ってまたよく検討していただいて、改めて今日、ということをお願いしているところがございます。さらに前回、令和元年度で生徒の推計、これが実績でどうなっているのか、その辺ももう少し見ていきたいなというご意見もありました。その辺の実績値を参考にいただいているのかなと思えます。コロナ禍がなかなか収束しませんで、今日のニュースを見てましたら、東京で400人超えじゃないか、そのような話もありました。これがいつまで続くのか、わかりませんが、このような必要な会議は開催して密にならないような形で進めていきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。それと、今日は統廃合をした施設のその後の利用というご意見もありましたので、その点の説明を受けながら、できれば中学校はある程度の方針を示して、その後小学校についても、また案を事務局で提案をしながら進めていきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。それでは本日も忌憚のないご意見ををお願いを申しまして、ご意見をよろしくお願いいたします。

## 6 議事

### ・事務局

それでは、これ以降の議事については、委員会要綱に沿って、副市長に進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

### ・議長

それでは議題に沿って進めたいと思えます。議題1の「人口推計と実績について」について、資料1になります。前回の会議の中で推計値と実績値が多少の乖離が出てきているのではということで、事務局が今後の参考値を算定したということでもあります。それでは事務局より説明をお願いします。

### ・事務局

資料1「児童生徒数の推計値と実績値の比較」により説明。

### ・議長

いま人口推計と実績について事務局から説明がありました。単純に言いますとほぼ横ばい。全体の小学校計、中学校計を見ますと、小学校でプラス30、中学校で40、合計で70人。20校あると考えますと、市のほうの施策も、もしかしたら少し貢献しているのかもしれない。子育て世代をしっかりと支援していくという状況もあって、若干子育て世代が転入してきているのかなと、勝手な希望もあって発言してしまいました。これについて、何かご意見はありますか。

・委員

ちょっと数字が気になる場所があって、確認させてください。小学校計の実績値Bのところですね。これを全部足すとこの数字にならないんですね。もしかしたらどっかで計算の土台が違っているかもしれないので、ちょっとそれだけ気になったんですけど、そうすると誤差についても違っている感じです。この表に信憑性が出てこないと正確性に欠けると思っていますので、ちょっと見ていただいて、再度確認をお願いいたします。

・事務局

資料のほうを再度確認させていただきます。

・議長

もう少し数字をチェックしていただいて、正しいものを出してください。

・委員

2060年も小学校計、中学校計も大きな差は無かったです、資料の確認をお願いします。

・議長

次の会議の際に差し替えていただけるようお願いいたします。これは、あくまでも推計値と実績値の差がどの程度なのか確認という意味で資料を作っていたということになります。

・委員

推計値の減少率を乗じたものという土台が2025年以降とか、2026年以降とか学校によってバラバラなんです、これは根拠があるのでしょうか。

・事務局

実績値の下の※印については、事務局のほうで書き間違えまして、すべて2025年以降となります。失礼しました。

・議長

そこも含めて直してください。それでは議題2「学校施設の活用について」というところで、今後再編計画を進めていくうえで、跡地利用、民間活用そういったものを国交省が情報提供しているということでもあります。その参考事例があるということなので、事務局より紹介していただきたいと思っております。

・事務局

資料2-1「学校施設の活用について」、資料2-2「施設の再編事例」により説明。

・議長

学校の統廃合が進んだ時に、よその自治体ではどのような形で流用していくか、その事例が紹介されたところでもあります。それらについて、何かお聞きしたい点があればお願いします。これは直ちに旭市に該当するということでは無いと思っておりますが、少なくとも資料2-1の2ページ目の統合イメージの中で、A小学校が築75年だとさすがに取り壊さざるを得ないだろうと、B小については築40年だとその前のページのように大規模改造した場合には、他の施設への転用は可能なだろう、そういうことのようにあります。さらに体育館については、避難所というような取り扱い、併せて学童施設だったり、色んな形で使える、その地区に拠点として残るのかなと、そういうイメージだろうと思っております。こ

これはこれとして、アイデアなんだろうなと思います。何かございますか。

・委員

避難所に指定されていない体育館はどれくらいありますか。実際土砂崩れの危険性があるということで除外されているものがあると思います。旭市ではどこが対象となっていますでしょうか。

・事務局

避難所になっていない体育館につきましては、ひとつは中和小学校の体育館で、中和小学校が土砂災害警戒区域に含まれますので、避難所としての指定はありません。中和小学校の子は、避難指示が出ますと、こちら（ひがた市民センター）に避難します。もうひとつは、干潟中学校の体育館です。体育館は土砂災害警戒区域に入っています、避難する際は武道場に避難することになっています。体育館自体は避難所としての指定はありません。

・委員

滝郷小学校の2階建ての体育館は避難所になっていますか。

・事務局

2階建てになっているのは、萬歳小ですね。避難所になっています。

・議長

そのほかのご意見がなければ、(3)学校の再編計画案について、資料3、4について説明をお願いします。

・事務局

資料3「中学校の再編案」により説明。

・議長

いま資料3の説明がありました。資料3につきましては、前回の〇〇中の排水の関係、それから〇〇地域の小学校の関係が出されていました。その辺はこの年次、児童数の実績の数字を加えた案ということで、前回と資料自体はほぼ変わっていないということで、中学校の再編の案1、2、3という形で出されていて、これは前回の資料とほぼ同じでありますので、家に持ち帰って見ていただいたというなかで、ご意見を伺いたいと思います。

・委員

中学校の統合で〇〇中と〇〇中を一緒にすると〇〇中の校舎を活用ということが前提ということなんですが、〇〇中のほうが元々収容人数がいて、部活もそれなりに出来て、施設もあって、そちらに行くのではなくて〇〇中のほうにというのは、何の強い意志があるのでしょうか。

・事務局

小学校を主として考えた場合、〇〇中を〇〇小という方向性があり、それを玉突き的に考えた中で、施設をどううまく活用していくかを考えると〇〇中より〇〇中のほうが外側に拡張する可能性も高いことと、アクセス性も鑑みますと〇〇中を中学校として捉えたほうが良いのかなと思います。〇〇中は〇〇小という事務局の方向性がありますので、そこを踏まえますとバランスを取ったということになります。

・議長

いまの話だと〇〇中を〇〇小学校に転用したいという案があって、それで〇〇中にといいことで、そのほうが地理的には真ん中にいくというのがあるかもしれませんが、〇〇委員はいかがですか。

・委員

〇〇としては、そこまで設定するようなものがあるわけではなく、ひとつの検討課題ではあるんですが、私個人的に思うには、将来的に20年、40年先を見ると、〇〇中の校舎ひとつあれば中学校が足りてしまうのではないかという気がするので、〇〇中だと〇〇小から離れてしまうんですけども、逆のパターンのほうが個人的には良いのかなという気もするんですけども、〇〇としては、何もお金をかけて改築や増築をしてまで考えなくてもいいのかなとは思っています。財政的なものも考えていくと、そういう形も有ではないかなと思います。

・議長

いま〇〇委員から、そこまで強い意志をもって〇〇中、〇〇中を分けているわけではないよということですね。

・委員

いま〇〇中、〇〇中の話が出たので、後で話そうと思っていたんですけども、自分が考えた案を話させてもらいます。私個人として考えたのは、〇〇小はそのまま使うことにして、中学校は、逆に〇〇中から〇〇中に中学校を持っていく。〇〇中については、統合小学校ということではどうかなと考えていました。〇〇中を使った統合小学校の学区としては、学校の位置としては端っこの位置にあって、地理的にはどうかと思うんですけども、〇〇小のほうで借地があるとか、いくつか課題もあるんですけども、実際の借地が年間190万円という金額というのは、例えば1ヶ所の学校を大規模改造だとか改築すると考えると、もの凄く微々たる金額なんだと思いました。再編が進みまして、例えば教職員の方が適切に配置できて、新しく学校を作ったとしても、今よりも少ない人数にできるのではないかと。そうすると教員一人当たりの給料というのは年間190万円では全然足りない金額になりますし、先ほども話しましたが1ヶ所の学校を改築、改修することを考えると、変な話ですけど微々たる金額なのかなと。〇〇小学校を変えれば当然20年後、30年後には〇〇小学校も生徒は減るという予測ですので、今の規模も無くなる可能性もありますので、借地ももしかしたら、必要無くなるかもしれない。借地がどの位置はいまわからないんですけども、そういった案はどうかなと思い、私の案として発表させていただきました。

・議長

〇〇委員は全体の話として考えた案を出していただきました。〇〇小はそのまま、〇〇中は統合小学校、その案ももしかしたら有りなのかなと思いました。

・事務局

補足なんですけども、事務局のほうで考えていたのは、〇〇中学校を統合中学校にするというのは、中学校の学区全体を見たときに位置的なバランスを重視して決定しております。あと先ほど説明したとおり、拡張の余地が〇〇中の位置よりはあるだろうとこともご

ざいまして、今の〇〇中学校を統合中学校にということです。〇〇小学校に関しましては借地の問題がありまして、これを機会にということがございますので、〇〇中学校を設定しております。全体的な位置のバランスを考えて〇〇小を〇〇中にとということで、決定というわけではないので、こういう形で事務局案としてシミュレーションしてみたということです。

・委員

2045年にもし統合を考えた場合、その4つの小学校を足すとどうしても、500～600あたりの総人数になってくると思うんですが、ちょっとそれは多いような気がするんですけども。あと〇〇小学校の耐用年数を考えますと、2045年に南校舎の建て替えが必要になってくる。同じ場所にと考えると〇〇小学校は校舎の建て替えという話になると、〇〇小学校の人数が500人弱で、ひとつの学校に納まるとうのは適正水準じゃないかと思うんですけども、これで4つの小学校を一緒にしてしまうことを前提に考えて2040年に持ってくるとちょっと人数が多すぎるのではないかなと思います。

・委員

4つというのは、〇〇、〇〇、〇〇、〇〇ですか。私が思ったのは、〇〇、〇〇、〇〇の3校ということです。〇〇小は〇〇小でそのまま考えてます。

・委員

2040年には南校舎の耐用年数を超えてしまうので、校舎を建て替えるということでしょうか。

・委員

〇〇中の校舎の対策があまり書いてないんですけども。

・議長

〇〇小の北校舎は新しいんですけども、南校舎は古いので、建て替えが必要となってしまうのではないかと、という話ですね。その辺の年次を含めての検討ということだとパズルのような話になってきますね。中学校について、ほぼ〇〇案ということで、案1案2案3をお出ししたところでありましたけれども、〇〇統合中学校は、〇〇中を使うのか、〇〇中を使うのかという議論がありましたけれども、そこのところについては、事務局のほうでもパターンというか、こちらの校舎を使う場合はこんな風にみたい、そういう書き方も有なかなと思います。ただ中学校を〇〇にするという全体の考え方は、これでよろしいかということについては、他の委員さん、いかがでしょうか。

・委員

今日は会議が10回目、9回目まで何を中心に議論してきたかなと考えたんですけど、児童や生徒数の推計とか減少見込みのデータを出してくださいました。あと学校施設の老朽化についても施設の面で議論してきたんですけども、自分の人生を振り返ってね、ちょうど昭和31年、最初の町村合併の後の大きな学校の統廃合について通達が出されたのが昭和31年だったんですね。私は小学校1年だったんですけども、その通達の中身というのが、それぞれの小規模校というのが割に合わない。経費ばかりかかって、なかなか十分な教育の成果がえられないから、どんどん合併して、合併をしたところには補助金を出という形が31年だったと思います。私が1年生の頃は、飯岡小でしたけれど、6学級くら

いありましたし、1500人ぐらいいました。それが今はどんどん減っていますけど。それから昭和48年ですので、私が教員だった時、その時は昭和31年の通達を振り返って、48年の通達は、小規模校は良い面も沢山ある。大規模校に統合する事になって、なかなか大きな問題も生まれてきたし、地域の住民の方との紛争があったから、そんな事を踏まえながら、小規模校というのをもう一回見直ししたほうが良いんじゃないかというのが48年だったかなと思うんです。それから私が辞めた年かな、区切りの年にイベントがあるんですけど、安倍首相が出てきて、平成の大合併の後の学校の統廃合についても補助金を出すから、効率化を上げるためにまた合併を進めましょうということになって、それが今だと思うんですね。よく考えてみると確かに旭市もどんどん子供が減るし、10年後、20年後を考えると、やっぱりどんどん統合しなきゃいけないのかなと思うんですけども、数の事ばかりイメージしたり、校舎の老朽化が進んでいるとか、補助金がどうなっていることからちょっと離れて、前に〇〇委員からも資料をいただいたんですけども、こういう学校がいいんだろうなという事は、やっぱり忘れてはいけないので、もしかしたら統廃合が決まって、新しい学校を作るときにどういう学校にしようかという議論が必要なんだと思うんですけど。ちょっといま議論に入るところで、こういう状況にあるのかなというのを自分なりに整理したところを申し上げたんですけど。たぶん教育委員会の原案、中学校〇〇について3案あって、吟味に吟味を重ねてこれが出てきたから、ひとつふたつここがこうなればいいなというのはあるんですけども、ちょっとなんかこれを絞っていく道筋について、足踏みしてて良いのかなと思ったりします。何が言いたいかというと、国の施策が変わって、48年はUターン通達と言われて、前のやつを覆すような通達が出て、また一通り戻ってという感じなので、それはやっぱり現場の色は出しつつ、地元には良く子供たちの事を考えていかなければならないんだなと思いました。

・議長

ありがとうございました。今を受けて〇〇委員いかがですか。

・委員

いまご発言があったように、私もどういう学校を作るか、もっと言うとどういう子を育てていくかが一番大事なんですけども、色々と議論していく中で、具体的に考えていくにあたって、費用対効果ということもあるし、もっと言えば子供たちが活躍できる、成長する母体としての学校の規模というのは、やっぱり適正なものがあり、それは文科省が出している12学級以上というのが、子供たちが学校で活動するうえ、学習するうえ、また色んなことを学ぶうえで適切な大きさではないかなということでも出たと思うんで、そうなるこれから先10年、20年、30年と見ていくとちょうど話し合ってきた中で、〇〇に集約すると人数的にも良いし、皆さんからも出てきた部活動の課外活動についても、すごく充実してくるので、ちょうど子供たちの活動の事を考えると、中学校をちょうど〇〇ぐらいでいくと、この先30年、40年は安泰なのかなと思います。

・委員

私も〇〇というのは、ちょうどいい数かなと思います。

・議長

今回は、将来を展望したあり方検討委員会の中でもある程度の方向性も示されていまし

て、その中でも適正な規模にしていきたいと思いますという提言がされているところでありました。ただ具体的ではなかったということと、何処と何処をこうしましょうという具体的なものでは無かったので、今回は具体的に再編の計画を立てていきたいと思いますという事で始まっていますので、当然、子供たちをどのように成長させるか、どういう学校でどういう子供たちを育てるかという議論は、学校のあり方のほうである程度していただいたのかなという前提で進めてきたので、ある程度の適正規模で進める必要があるだろう、そういう形で中学校を〇〇でいかがでしょうかということ、〇〇委員からは、それにすれば30年、40年は大丈夫かなというご意見をいただきました。様々なご意見を集約していかなければなりませんので、そのほかの委員さんからもご意見をいただきたいと思います。〇〇委員いかがですか。

・委員

私が申し上げてきたことは、中学校の場合は部活動が成立するような形にしてもらいたい。特に〇〇中はほんとに部活動が特に文化系が無いような状況ですので、そうなってくると、どうしても助けたくなくなるという気持ちはありますので、お金がどうのこうのありますけども、子供たちの事を考えて部活動の成立をしてもらいたいというのが、ひとつの希望です。その中で事務局の〇〇の案があると思うんですが、中学校の場所についても、ある程度バランスを取って作られていると思いますので、その点に関してはどうこういう事ではないんですけども、ただ中学校に関しては、少しスピード感を持ってやったほうが良いかなと思っています。

・委員

私も案1の〇〇が良いと思います。〇〇地域のほうがやっぱり〇〇の小学校がくっついたり、統合中学校になると後々揉めたりというのがあるんじゃないかなと思います。〇〇案で良いんじゃないかなと思っています。

・議長

ありがとうございます。〇〇委員は教育面から何かありますか。

・委員

最初の頃からずっと言われていることなんですけども、小規模校、大規模校はそれぞれの良さがあるという事は誰しもがわかる事ではないのかなと思うんですが、例えば市内20校の小中学校の校長を集めて、どうするとなった場合は、やっぱり同じような事になるのかなと思います。ホントに今後20年、40年と考えていったときに、小さい学校をそのまま残しておいてどうなのかなというのは、絶対に直面する問題だと思います。なので市内のバランスを考えると時に中学校〇〇という考え方は、現時点で考えられる中ではベストかなと思います。

・議長

ありがとうございます。〇〇委員いかがですか。

・委員

〇〇中学校と〇〇中学校を統合した場合に、〇〇中学校が統合中学校になるということなんですけども、私の出身が飯岡なんですけども、〇〇中学校が一番新しい学校で、〇〇小学校と〇〇小学校の子供たちは、新しい〇〇中学校に行きたいというような話は私のほうに

入っています。そういったことから、人数的にひとつにならなければならないんですけども、〇〇中を使うということになりますと、地図を見ますと地域的に〇〇の子供が遠くて大変になっちゃいますから、その辺の問題もあるんでしょうけれど、私からはそういった子供たちの意見を聞いていますので、その辺を考慮してもらいたいと思います。

・議長

今のは、〇〇の地区の中学校についてご意見がありました。やはり地域的なバランスを取ってしまうとどうしても〇〇中にはなかなか行けないなという状況になるんじゃないかなと思います。〇〇中も古いとは言えない状況ではありまして、合併してから建てた中学校ですから、その辺の耐用年数としては10年の差があるのかどうか、そういう状況になりますので、その辺は心情的なものというのは地域からの意見が届いているといことで、意見として承りたいなと思います。それとさっき〇〇中と〇〇中の使い方の意見もありました。あと、〇〇の統合中学校の位置関係もはっきりしていないし、そのところは含みを持たせた形で、ただ中学校を〇〇に統合するという流れ的にはやむを得ないという感じを受けていますので、そのところについては、事務局でこの場合にはこうなりますと付帯の意見を書きつつ、素案的に中学校統合の案の部分を作ってもらいたいと思います。そのところは、様々な意見をいただいたものを全て無するのではなくて、具体的な意見を記するような形で案を作っていたらいいと思いますが、委員の皆さん、中学校は〇〇で作るという事でよろしいでしょうか。

-----委員了承-----

・委員

〇〇のひとつは小中一貫にするかどうかというのは、まだ決めませんか。

・議長

まだです。〇〇の小学校の件もありますから、小学校のなかで議論をさせていただければと思います。

・委員

もうそろそろパブリックコメントの調整を始めると思うんですが、実際の中学校の素案が出来て、小学校の素案が出来てから皆さんどうですかという感じですか。実際パブリックコメントが入ってくると大分変わってくると思うんです。その前に議会にも説明をしなければならぬと思うので、順序良く準備していただければと思います。

・事務局

基本的には全体が仕上がった段階でやりたいな思います。

・議長

それでは、小学校の資料4の関係を説明お願いします。

・事務局

資料4「小学校の再編案」により説明。

・議長

前回の意見を踏まえまして、それに対してどのような対応ができるかを想定しながら、説明を受けたところでして、今の説明でご不明な点やご意見がありました受付けたいと思いますがいかがでしょうか。

・委員

〇〇中学校の〇〇に用地を取得する案というのは、小学校の〇〇と考えればよろしいですか。

・事務局

小学校の再編の案1と案2とありますが、どちらにしても〇〇地域の統合小学校は、現在は〇〇小学校を使うというプランで図面上は記載していますが、これを新たに〇〇中の〇〇に新設校として出来たらどうかというご提案です。その際は〇〇小学校が使わないこととなります。

・委員

〇〇中の旭市有地のところなんですけど、ここはどんな学校のどんな目的にも対応できるように改修されているんですか。

・事務局

14600平方メートルあります。現状は雑地になります。そのままでは使えませんので、埋め立てが必要になります。

・委員

調整池の機能を維持するという意味がわからないんですけども。

・事務局

よくスーパーとかの駐車場の下がため池となって水を一回溜めてから流すというイメージで、グラウンドを作るにしても、その下にため池の機能を残すという考えであれば、有効活用できるかなというプランではあります。

・事務局

飯岡中学校とか、矢指小学校がやはり上はグラウンドに使って地下の貯留槽を調整池にしましょうというような方法になっていますので、同じような形を取るといって可能だと思います。

・委員

〇〇小学校の扱いをどうするかというのがあると思いますが、説明の中で地域の歴史的関係を考えて組み合わせているという話があったんですが、〇〇小学校の歴史的関係というと、どこと結びつきが強いかわかりますか。

・事務局

〇〇小とは繋がりはないです。

・〇〇委員

〇〇小は分校としてスタートしたと思います。

・委員

学校番号も〇〇の次ですよ。わかりました、ありがとうございます。

・委員

〇〇なんですけども、排水が不便というか、治水工事をしないと使えない土地ですよ。〇〇の中心地ですが、ちょっとした100ミリ以下の雨でも道路が冠水して、2週間前の雨ですかね、あれでも縁石が見えないくらいの水が溜まっていて、その所に新しい校舎を建てるとなった時に、おそらく地元の方は、治水が先じゃないかというのは出てくると思

うんですよね。治水をしました、校舎を建てますよという順番でできるのかどうか、実質的なところだと思うので、その辺を加味して考えたほうがいいかなと思います。〇〇の裏に建てていただけるのであれば、コンパクトな土地利用としてもある程度良いのかなと思います。なので、〇〇を活用するのはちょっと無理があるのではないかと思います。

・議長

〇〇は水の流れは線路を超えて西のほうに持っていつていることもありますし、排水対策は10年ぐらいで出来れば建てられなくはないですが、非常に厳しい状況です。

・委員

そこに新しいものを建てるんだよ、となった時に優先順位が違ふんじゃないかという事が出てくる話だと思うので、治水が先じゃないかと。

・議長

〇〇小の周辺とほぼ似たような状況です。〇〇小の南側と西側は冠水する状況です。その水は文化会館に向いてますけど、全部は吐き切れない状況です。いま小学校〇〇案、〇〇案、そして〇〇、〇〇、〇〇を分けたときはこうなりますよ、という話もありました。〇〇委員いかがですか。

・委員

小学校の事に関しては、去年も言ったと思うんですけど、小学校というのは子供たちが自分でいろんな事をできるようになるところだと思っていて、その基本というのは近くの歩いて行けるような場所が良いのかなと思っていて、こちらの会議に来るときも〇〇小学校の児童が歩いていて、こんなにいっぱい歩いているんだなと思ったんですけども、いずれにしてもそういう思いがあるので、基本的には小学校はみんな残してほしいという思いです。でも、なかなかそうはいかないとは思いますが、できるだけ残していただきたいという事で、やっていただければと思っているんですけども、当然〇〇よりはもっと残してもらいたいと思うので、その辺を自分でも考えていたんですけども、なかなか難しいなというところです。〇〇地域の話もあったんですけど、ひとつはやっぱり場所的にどうしても西の方に寄っちゃっているんで、急に今の〇〇のところに新しく小学校を作る話も出てきたんですけど、今までのところでは、どうしても〇〇小だと場所的にも偏りもありますし、ちょっと今まとまらないです。

・委員

この資料をいただきまして、〇〇の〇〇という案は非常に素晴らしい案だと感じました。〇〇地域の検討の方向として〇〇中学校のすぐ隣に小学校がある、小中一貫校もそうですし、小学校と中学校が隣接して連携が図りやすいというのは、すごく良い事だと思いました。あとこの地区は大きな公園、グラウンド、公共施設もありますし、健康増進センターもありますので、地域な繋がりや将来的な公共施設の利活用も踏まえると非常に良い場所だと思いました。

・議長

ありがとうございました。小中一貫校の話は、小学校の時にと話しましたが、〇〇委員いかがですか。

・委員

先ほどの海上が繋がって小中一貫校になるかもしれない、それと案3にあった〇〇統合中学校の小中一貫校、老朽化を新築せず何とか補助金を頂きながら長い間使おうとう考えもある中で、この大きな物が建つというのが可能なのかなと思うんですけど。それは願いを言えばそういうのがあると、おそらく新しい目標を持って地域の皆さんも先生方も子供たちもやっていけると思うんです。それが国の歴史を考えると私たち地元が強い意思を持ってやっていかないとなかなか難しいなと思いました。強い意志といっても難しいですが、例えば小中一貫校2つ作っても、お金の出どころが無いみたいだし、難しいなと思っています。

・議長

〇〇委員さん、事務局の提案について、いかがですか。

・委員

小学校を1つ建てたら国の方からの補助金いくらくらい出ますか。

・事務局

事業費の頭打ちがあるんですが、基本的に事業費の3分の1というのが文科省から出ます。その他に3分の2は市の負担となりますが、有利な起債とかそういったものを充てていくという事が必要となるかなと思います。基本的には3分の1なんですが、上限がありますので、必ずしも3分の1になるとは限らないです。その上限というのは児童数×面積というような基準がありまして、それが文科省が出せる限界のお金ですという事になって、それ以上は市が負担してくださいという事になります。

・〇〇委員

おそらく〇〇の農地の関係は、農地転用はある程度クリアできると思うんですけども、ほかに学校を建設する土地があったりすると、農地を潰すために農地転用をすることが厳しくなるんじゃないかなと。それと、おそらく20年後は今ある土地改良施設の基盤整備が再整備となり、ストックマネジメント事業が着手されるんじゃないかなと思います。そうすると、ここの施設は農業基盤整備の受益地となりますので、そこまで再投資をしまないと、農地転用が難しくなるんじゃないかなと思います。あと、更に農業基盤整備の排水が整備されてしまうと、受益地になりますので、そういった事業が8年経過しないと農地転用、農地除外できないという厳しいハードルがあります。そういったものが絡んできますので、あとは都市計画の中でどういう位置づけがされるのかというような、そういう大物の土地利用方針などをきちっと整備をしていかなければならないというのを心配しています。あとは、文科省の補助事業の他に集約することによって、別の面で交付税か何かで措置がされて、有利な財源ではないんですが、有利な財源的な手当てが文科省以外でも交付税措置がされるんじゃないかなと考えられます。ただ、それが20年後もあるかはわかりません。

・議長

〇〇委員は、全体的な話はされていますけども、小学校について具体的にいかがですか。

・委員

ここで使っている小中一貫という言葉の定義なんですけども、ただ単純に小学校と中学

校が併設して、それを小中一貫として私たちが話し合っているのか、それではなくて小中が連携した状態の小中一貫をイメージして話をしているのかを、ちょっと置いといた方がいいのかなという感じはしています。

・議長

小学校中学校が別々にあって、それで小中一貫と言っているのか、下総みどり学園のように切れ目なく小学校から中学校まで一体的に運営されているところなのか、その辺は統合するときに特色を持たせると統合しやすいのかなと、現実にはあるのかなと思います。特に新たなところでできた場合、ほかの学校を取り込みやすいというか、そういうのが出来たならそこに行ってみたいという可能性もあるのかなということで、案を出してありますので、今どちらを想定するという事ではありませんけども、流れとしては中1の壁みたいなあるのであれば、子供たちの教育のためには、そういう事も考えていかなければならないと思います。そういうのは素案の中で、そういうイメージを持った学校を作るという記載ができないかな。

・委員

現実的に考えたら山田小学校のような形ですね。いずれにしても、単独でやっていける学校はほとんど無いわけですから、統合した暁には、校風とか伝統とかはまったく整ってなくて1からスタートはみんな同じですよ。だからそういった意味でも地域でここをひとつにするんだったら、統合を決めた時点である程度の特色を持たせた何かが秀でた方が良くないかなと思います。当然学力の差があるし、そう考えると保護者の皆さんからも絶大な協力を頂いたり、地域の皆さんもそうですけど、やっぱり連携してやっていかなければならないので、少し前に千葉県で沢山できたコミュニティスクールみたいに、いま現状としては、学校に評議員さんがいるくらいで、そんなに強く地域と連携して学校を作っていくというには、まだ無いのかなと思うので、その統合を機にそういったことも力を入れていけば理解が得られるんじゃないかなと思います。

・議長

〇〇委員いかがですか。

・委員

いま資料に2つ案が出ているんですが、中学校の統合と連携していくと、案2が一番自然かなと思います。先ほど〇〇中学校のすぐ近くに〇〇の土地をという話があって、そこに〇〇地域の〇〇が統合して、そうすると〇〇中学校と連携した教育ができるのかなと。30年、40年後に〇〇小と〇〇小が統合した小学校が100人を切るくらいになってしまうので、この時点で〇〇中学校の北のところに改めて統合すると、その時点で小中一貫教育ができるのかなと思うので、将来を見通したときにすごく良い案だなと思いました。〇〇小学校について何度か出ていたんですけども、〇〇小学校については、中学校の〇〇の案1を採用すると、この図のような形になって、小学校再編案2のようになって、そこで小学校の統合がされるので、人数的な面もバランスが取れているかなと思います。

・議長

ありがとうございます。〇〇委員いかがですか。

・委員

小学校は詳しいことはわかりませんが、地図を見た感じは案1が地理的には良いなと感じております。

・議長

図を示してしまうと、それぞれの良さがあるんだろうなと思います。やはり将来的なものを考えていくときにはある程度集約をしないといけないだろうなと思います。あとは冒頭で説明があったとおり20年である程度設備関係を一旦直して、その後40年経って大規模改修、60年目でまた小規模な施設整備、80年経った時にコンクリート等の耐用年数が過ぎますので、そこで改築という話になります。そうするとある程度、その年数を見たらうで統合の部分、集約していく部分の流れが出来ていく可能性がありますので、そういったところの年数も踏まえて事務局のほうで6校もしくは7校で案を作って、さらにその中から派生させて意見として小中一貫校の考え方を出して作るのは大変になっちゃうかな。

・委員

そこに子供の人数も入れていただきたいです。複式学級を出さないといった時点で2045年はどうなっているかが分かるように人数も入れていただきたいです。

・事務局

少しお時間をいただいて作成したいと思います。

・議長

いま出た意見をすべて集約するのは難しいので、そのパターンから派生させて、こういったときにこうなる、というのをパターン化して文書的に出して、あと人数的なもの、施設の改修の事を踏まえて、ここに書いてあるとおりなんだけども、その中で集約したときに、いま学校が避難所になっているところは、そこに子供たちは歩いて集まってきましたよ、そこからスクールバスで登校しますよ。そういうことを主にしたいと思うんですけど、そういった書き方にしてもよろしいですか。そうすれば、ひとつそれ以外の施設はなくなっても、体育館だけは避難施設として残りますよ、そんなイメージを持って、集約したときの文書を作ってください。よろしく願いいたします。やはり全員がそうしましようというふうにはならないと思いますので、一回こういう書き方でどうでしょうかという形で作っていかないと、まとまらないと思うので、どうしても子供の数が減ってきていることが現実なので、これを無視はできませんので、やはり将来的な事を考えるのは当然のことだと思います。〇〇と〇〇で両方踏まえて書いてください。

・委員

あり方検討委員会の時も吟味に吟味を重ね、適切な規模というのは12から18学級とあって、散々時間をかけましたが、振り返ってみれば、昭和31年も48年も平成20年も適正規模は12から18学級だったんですね。だから何をしてきたんだろうと思いますけども、要するに旭市が作りたい学校を作るというのが一番大事なのかなと思います。

・議長

やはり子供たちがある程度のところは歩いて通って、そこから先は何らかの移動手段を考えてあげるというのは必要なのかなと、それをきちんと明記して説明していかなければ

ならないのかなと思います。

・委員

いま車の送迎がすごく多いんですよね。天気に関係なく送って行っている家庭がすごく多いんです。

・議長

もしかしたら保育所の延長になっちゃってるのかな。

・委員

〇〇は特に多いですよ。そう感じちゃいます。

・議長

確かに小学1年生に2キロメートルを歩いて行きなさいというのは、少しきついですよね。

・委員

時代の流れですかね。

・議長

ほかに何かご意見があればお願いします。

・委員

前回の計画（たたき台）について、1ページの12行目「どのような形で残すべきか」の表現を前向きなものに変更してもらいたい。2ページ2行目「少子化により」の部分は数字を含めた形で表現してもらいたい。6ページに地図を入れて、そこに令和2年度の生徒数、6キロメートルの円を表示していただきたい。10ページからの意見は不要だと思います。

・委員

先ほども話があった適正規模12～18学級ですけども、いまコロナが非常に流行っている状況の中で、ソーシャルディスタンスという話もあるんですけど、その中で各クラスの人数を今後減らすというような話はあるのでしょうか。

・委員

基準のようなものは示されていますけども、こうしなさいというものは無いです。

・議長

今朝の新聞でもそのような記事が載っていましたが、そういう考え方も出てくるのかなと思います。

・委員

たぶん出てくると思いますので、もし分かればお願いします。

・議長

国の動きがわかったらお願いします。

・委員

学校施設の長寿命化事業と、ここに示されている大規模改修とかありますが、これは、どの部分が長寿命化事業に当たるのか、決まりを教えてください。

・事務局

20年サイクルで改修をしますが、まず20年経ったら大規模改修、40年経ったら長

寿命化という形になります。さらに大規模改修という形になります。

・ **委員**

大規模改修と長寿命化の補助金は違うんですか。

・ **事務局**

3分の1ということは変わりませんが、基礎単価がちょっと違いますので、基本的には基礎単価の3分の1になります。基礎単価は長寿命化のほうが高いと思います。土台を補強したり、耐震補強をします。

・ **議長**

その他ございますか。特に質問等がないようであれば、その他の次回の開催についてお願いします。

・ **事務局**

長時間にわたりありがとうございました。次回の会議ですが、素案作りとして少しお時間をいただいて、9月25日午後に予定させていただきたいと思います。詳細については、追ってご連絡いたします。

・ **議長**

それまでに素案の作成をお願いします。その他無ければ、以上で本日の会議を閉じたいと思います。ありがとうございました。